

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(無党派)

**小中学校の体育館におけるエアコン設置率100%の是非について問う
～子どもたちを猛暑から守るために～**

問 市内小中学校体育館のエアコン設置率。

部長 0%。

問 エアコン設置コスト。

部長 約1億円/1棟(静岡市参考)。

問 ランニングコスト。

部長 約140万円/年間(試算)。

問 工事スケジュール。

部長 約2年/1校当たり
(調査・分析・設計に1年+工事期間に1年)。

問 エアコン設置率100%の実現に向けてロードマップの作成を提案するがいかがか。

部長 現時点では、体育館にエアコンを設置する必要性は低いものと判断している。

市長 熱中症にならないよう水分補給や体調管理を徹底することが大事だと思う。エアコン設置の必要性は感じているが、財政的な問題を解決しなければならない。

意見 富士宮市は猛暑対策として市内の小中学校の特別教室も含め、すべての教室にエアコンを設置してきた実績がある。だからこそ体育館もエアコン設置を進めていただきたい。子どもたち、保護者のみなさんの安心のために。

**買物弱者を救うための支援対策について
～Uber Eats(ウーバーイーツ)を富士宮エリアで利用可能に～**

問 フードデリバリーサービスが買物の環境の改善につながると考えるが、市の見解を伺う。

部長 将来的に地域の特性に合った配達方法が確立され、サービスニーズは増加すると考えている。民間事業者の動向を注視していきたい。

部長 福祉分野においては、サービスが普及することで、買物手段の選択肢が増える。結果として買物環境の改善につながると考えている。



いわむら えみ
岩村 恵美
(キセキ)

新型コロナウイルス感染症と新型コロナウイルスワクチン接種について

問 幼児を含む若い世代の新型コロナウイルス感染症患者で、重症化した報告は受けているのか。

部長 静岡県が調査し県のホームページに掲載されている資料から、新型コロナウイルス感染症肺炎の重症度分類は、軽症、中等症Ⅰ、中等症Ⅱ、重症の4段階に分類される。令和5年5月15日から9月3日までの中等症Ⅱ以上の内訳、全314人のうち10歳未満は1人、10歳代は1人、20歳代が3人、30歳代も3人。

問 2023年3月28日にWHOは、新型コロナウイルスワクチンの接種指針を見直している。有益性が限定的だとして、健康な成人らへの2回目以降の追加接種について推奨しないと発

表しているが、特に6か月から11歳の子どもたちに、この接種率から考えても接種券一斉送付の必要性がないと思われるが、いかがか。

部長 ワクチン接種については、国からの法定受託事務で実施している。積極的な勧奨をされているものについては、対象者の方全員に接種券を送付している。

意見 全ての新薬において薬害のリスクはゼロではなく、効果や安全性の評価が十分になされないまま開始されていること、短期、長期にわたって体にどんな影響を及ぼすか分からないことを、改めて考えていきたい。



出典:mRNAワクチン問題を追究する有志の会